

国語科（国語）調査資料 作成の観点

書名	<div style="font-size: 2em; letter-spacing: 0.5em;">○○○○ ○○○○</div>	発行者番号 発行者名
項目		
内 容	<p>＜知識及び技能が習得されるようにするための工夫＞</p> <p>○社会生活に必要な国語の特質（言葉の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化）を理解し適切に使うことができるように、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫＞</p> <p>○社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>○言語活動を通して、言語能力を育成するためにどのような工夫がされているか。</p> <p>＜学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫＞</p> <p>○言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重する能力の向上を図る態度を養うために、どのような工夫がされているか。</p> <p>＜言語感覚を豊かにするための工夫＞</p> <p>○生徒の言語感覚（言葉に対する正誤・適否・美醜などの感覚）を豊かにするために、どのような工夫が見られるか。</p> <p>＜読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫＞</p> <p>○自ら進んで読書をし、読書を通して自分の考えを広げたり深めたりするために、どのような工夫が見られるか。</p>	
資 料	<p>○学習効果を高めるため、資料にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○挿絵・写真・図表等、資料のレイアウトにどのような工夫が見られるか。</p>	
表記・表現	<p>○漢字・用語・記号などの使い方にどのような工夫が見られるか。</p> <p>○教材や内容の文章表現の難易度について、生徒の言語能力の発達の段階からどのような工夫が見られるか。</p>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

<p>書名 項目</p>	<h1>新編 新しい国語</h1>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○情報の整理や関係について学ぶ「情報と論理の学び」が設定されている。学んだことを活用する教材が前後に配置され、情報を活用する力を身に付ける工夫がされている。 ○古典に親しませるために、作品を解説する折り込み資料や朗読動画、コラム「資料」が掲載されている。巻末資料で古典作品や関係する文章が取り上げられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話すこと・聞くこと」について各学年三つの教材で構成されている。「学習の流れ」によって学習の見通しがもてるように工夫されている。また、言語活動に取り組みやすくするために各項目で活動例を示すなど言語活動の充実が図られている。 ○「読むこと」の教材文から学んだ表現や構成等を生かして書く活動を行うなど、「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。書く活動では、テーマに対して学習者同士がそれぞれの立場で交流しやすいよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習内容の関連性をもたせるよう、教材ごとの「てびき」に「言葉の力」が掲載されている。巻末に一覧表を設け、「言葉の力」を系統的に学べるように示されている。 ○「未来への扉」「学びを支える言葉の力」では、未来を考えるテーマや日常生活での言葉の使い方や話の聞き方・伝え方、情報の扱い方がイラスト等でまとめられている。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫> ○我が国の言語文化について扱う「日本語探検」「文法の窓」「漢字道場」や、巻末の「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。</p> <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○「読むこと」の教材ごとに「読書案内」が配置されている。「読書への招待」、資料編では学習した教材と読み比べられる本や中学生へのお勧めの本が紹介されている。 ○1年で図書館の活用やポップ作り、2年でビブリオバトル、3年で読書会や私のベストブック紹介などに取り組み、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭で領域別に色分けをして、教材や身に付けたい言葉の力を掲載し、「未来への扉」では、3領域の学習と関連させた未来を考えるための九つのテーマを示されている。 ○巻末に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる「資料編」と「言葉の力」の一覧が掲載されている。 ○各教材にあるQRコードから、授業中の言語活動や家庭での予習・復習での活用を想定したデジタルコンテンツを閲覧、利用することができるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○長文の行数が「5、10、15」と「・」で表記されている。新出漢字は脚注に1字で示され、掲載された行数と漢字の読み方が示されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○1年では小学校での既習事項の復習となる内容や、3年を中心に、社会生活に生かせる言語活動や評論文などの教材が掲載されている。</p>	

<p>書名 項目</p>	<h1 style="margin: 0;">現代の国語</h1>	<p>15 三省堂</p>
<p>内 容</p>	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫> ○情報の扱い方について、自分の考えを深める「情報を関係づける」という単元が設定されている。複数の資料を用い情報を関連付けて考える力を養う工夫がされている。 ○古典に親しませるために、写真、図版を用いた資料や朗読音声、コラムが掲載されている。巻末資料で古典芸能や古典作品が取り上げられている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫> ○「話すこと・聞くこと」について各学年三つの教材で構成されている。「話し合いのこつ」によって、グループでの話し合いが進みやすくなるような工夫がされている。また、「書くこと」と「話すこと」が関連しており、言語活動の充実が図られている。 ○「読むこと」の教材文に関連した内容を「書くこと」の内容に反映させるなど、「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。書く活動では、学習者が自身の体験を振り返りながら、思考を深められるよう工夫されている。</p> <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫> ○学習の見通しがもてるよう教材ごとに「学びの道しるべ」を設けられている。巻末の「読み方を学ぼう」により、学んだことの振り返りができるよう工夫されている。 ○各学年の巻末資料に、対義語や慣用句などテーマを設けた語彙の資料や、手紙の書き方・話し合いの仕方といった日常生活で必要な内容が一覧で掲載されている。</p> <p><言語感覚を豊かにするための工夫> ○我が国の言語文化について扱う「言葉発見」「文法の窓」「漢字のしくみ」や、巻末の「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。</p> <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫> ○「読むこと」の教材ごとに「私の本棚」が配置されている。資料編「読書の広場」が設けられ、小説や説明文、古文などが紹介されている。 ○1年で私が選ぶ一文の紹介、2年でビブリオバトル、3年でブックトークに取り組み、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○巻頭で領域別の教材や言葉の力を身に付けるための学習の進め方が示されており、「思考の方法」では、思考の方法を手助けするチャートと使い方が例示されている。 ○巻末に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる「資料編」が掲載され、「読み方を学ぼう」で、文章読解の方法が示されている。 ○各教材にあるQRコードから、学習の参考となる資料や動画での解説を閲覧したり、漢字と文法のデジタルドリルを利用したりすることができるよう工夫されている。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○文章の行数が「5、10、15」で表記されている。新出漢字は脚注に1語単位で掲載行数とともに示されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○1年では小学校での既習事項の復習となる内容が扱われている。全体として、社会生活に生かせる言語活動や評論文などの教材が掲載されている。</p>	

書名 項目	<h1>伝え合う言葉</h1>	17 教出
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○写真や広告等を扱う「情報・メディアと表現」を設け、文字と文字以外の表現を合わせて読解することで、情報の扱い方や活用する力を身に付ける工夫がされている。 ○古典に親しませるために、絵巻、写真等の資料が掲載されている。巻末資料で、その学年で学んだ教材の他の場面や様々な古典作品、伝統芸能が取り上げられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」では、1・2年は四つ、3年は五つの教材で構成されている。「学習活動の流れ」の中でポイントを示すことによって、学習が深まるように工夫されている。また、言語活動の充実を図るため、思考ツールが掲載されている。 ○「読むこと」の教材文で学んだ知識や技能を基に書く活動を行うなど「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。また、書く活動では、課題の内容や書き方の例が示され、学習者が取り組みやすくなるよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「言葉の地図」に学習の流れと身に付けさせたい言葉の力が掲載されている。各教材の「学びナビ」「みちしるべ」で学習の関連性が図られている。 ○巻末資料では現代文学・古典文学の読書教材の他、「話すこと」「書くこと」のテーマや、日常生活で文章を書くときの注意点や表現に役立つ言葉がまとめられている。 <p><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の言語文化について扱う「言葉の小窓」「文法の小窓」「漢字の広場」や、巻末の「言葉の自習室」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。 <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○單元ごとに「広がる本の世界」が配置されている。「読書への招待」という教材を設定し、読書活動につながる本が紹介されている。 ○1年で本の帯やポップ作り、2年で図書館の活用、3年でビブリオバトルなどに取り組み、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭の「言葉の地図」において、この教科書での学び方を紹介し、1年間で学ぶ内容と身に付けたい言葉の力がSDGsと関連付けて示されている。 ○巻末に、言葉と文法の学習内容をまとめた「解説編」と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる「言葉の自習室」が掲載されている。 ○各教材にある「まなびリンク」（QRコード）から、教材の補足資料や情報活用能力の育成を手助けするコンテンツを閲覧、利用することができるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○文章の行数が「5、10、15」と「・」で表記されている。新出漢字は脚注に掲載箇所に対応して1字で掲載されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○1年では小学校での既習事項の復習となる内容が扱われている。全体として、社会生活に生かせる言語活動や評論文などの教材が掲載されている。 	

書名 項目	<h1 style="margin: 0;">国語</h1>	38 光 村
内 容	<p><知識及び技能が習得されるようにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「情報整理のレッスン」「思考のレッスン」で、文章における情報の扱い方が示されている。情報活用能力を養うよう「情報×SDGs」という教材が設定されている。 ○古典に親しませるために、作品の全体像を解説するコラムや絵巻・地図、朗読音声に掲載されている。巻末資料で古典芸能や古典作品が取り上げられている。 <p><思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」について1年は七つ、2・3年は六つの教材で構成されている。また、言語活動の充実を図るために、3年間を通して系統的に学べるように課題が設定されている。 ○「読むこと」の教材文で学んだ知識や技能を生かして書く活動を行うなど、「読むこと」と「書くこと」を結び付け、多面的な思考を促している。また、書く活動では、学習者が実践した内容を交流したり、自己評価したりしやすいよう工夫されている。 <p><学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教材ごとに「学びへの扉」を設け、学習の見通しをもたせている。また、巻末に『学びのカギ』一覧を設け、基本的な観点を示し、振り返りができるようになっている。 ○巻末の資料「豊かに表現するために」では、日常生活に生きるテーマを設け、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域で1年間で学習した言語活動が掲載されている。 <p><言語感覚を豊かにするための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○我が国の言語文化について扱う「言葉」「文法への扉」「漢字」や、巻末の「語彙ブック」「資料編」により、多くの語に出会い、言葉の使い方を判断したり、言葉の味わいを捉えたりすることができるように工夫されている。 <p><読書を通して人生を豊かにしようとする態度を育成するための工夫></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「読むこと」の教材ごとに「広がる読書」が配置されている。読書単元が二つ設定され、テーマ別の本の紹介、読み比べにつなげられるように構成されている。 ○1年でポップ作りや読書会や読書記録、2年でブックトークやポスター作り、3年でブックレビューなどに取り組み、社会生活とつながる読書活動が示されている。 	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ○巻頭で領域別に色分けをして、教材と身に付けたい言葉の力を他教科・SDGsと関連付けて示され、「思考の地図」では、場面や目的に応じた思考法が紹介されている。 ○巻末に、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の補充学習ができる資料や文章を読んだり豊かに表現したりするための「学びのカギ」一覧が掲載されている。 ○教科書の該当ページに示されているQRコードから、学習の参考となる資料を閲覧したり、解答を書き込めるコンテンツを利用したりできるよう工夫されている。 	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○長文の行数が「5、10、15」と「・」で表記されている。新出漢字は脚注に1字で載せ、掲載された行数と漢字の読み方が用例とともに示されている。 	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> ○1年では小学校での既習事項の復習となる内容が扱われている。3年を中心に、社会生活に生かせる言語活動や評論文などの教材が掲載されている。 	

国語科（国語） 調査資料 2

○分量について

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村
1 総ページ数 ※ 目録に記載されたページ数	1年	306	366	357	344
	2年	310	366	373	344
	3年	322	366	357	340
2 巻末資料、付録等の総ページ数 ※ ページ番号のない部分も含む	1年	68	136	73	89
	2年	72	124	73	83
	3年	98	136	67	99
3 単元数	1年	8	9	9	8
	2年	8	9	9	8
	3年	8	8	8	8

○領域別教材数等について ※（ ）内は、資料編等の中の教材及び資料数

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村	
1 教材数 ※扉の部分の詩も教材数に含む	1年	55(17)	52(29)	65(22)	78(18)	
	2年	54(13)	53(27)	61(24)	72(18)	
	3年	49(15)	45(27)	61(25)	72(20)	
2 領域別教材数	① 言葉の特徴や使い方に関する事項	1年	18(2)	20(9)	18(13)	21(6)
		2年	17(2)	18(8)	16(14)	20(5)
		3年	14(4)	16(8)	16(15)	18(7)
	② 情報の取り扱いに関する事項	1年	5(3)	1(0)	2(1)	5(2)
		2年	5(3)	1(0)	2(2)	5(4)
		3年	4(2)	1(0)	2(1)	4(3)
	③ 我が国の言語文化に関する事項	1年	10(6)	8(7)	16(3)	12(2)
		2年	8(1)	9(7)	16(2)	13(2)
		3年	9(2)	6(7)	15(4)	16(2)
	④ 話すこと・聞くこと	1年	3(0)	3(2)	4(1)	7(1)
		2年	3(0)	3(2)	4(1)	6(2)
		3年	3(0)	3(2)	5(1)	6(2)
	⑤ 書くこと	1年	5(3)	6(5)	5(1)	13(3)
		2年	5(2)	6(5)	6(1)	10(1)
		3年	4(2)	4(5)	4(1)	7(0)
	⑥ 読むこと	1年	14(3)	14(6)	20(3)	20(4)
		2年	16(5)	16(5)	17(4)	18(4)
		3年	15(5)	15(5)	19(3)	21(6)

○文種別教材数について ※（ ）内は、資料編等の中の教材数

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村
1 説明的文章 ※新聞記事等を含む	1年	8(1)	6(3)	7(0)	7(1)
	2年	8(3)	8(2)	8(0)	7(0)
	3年	10(3)	7(2)	10(0)	8(0)
2 物語・小説・随筆 ※古典は除く	1年	6(2)	6(2)	6(2)	7(1)
	2年	6(2)	4(2)	5(2)	8(2)
	3年	9(2)	5(2)	8(3)	10(3)
3 詩・短歌・俳句 ※巻頭詩等を含む	1年	12(0)	3(0)	7(1)	12(0)
	2年	13(0)	4(0)	8(2)	8(0)
	3年	14(0)	4(0)	10(1)	10(0)
4 古典 ※漢文・和歌・川柳等を含む	1年	4(4)	2(4)	5(2)	3(2)
	2年	6(0)	6(3)	4(2)	7(2)
	3年	6(0)	5(5)	6(1)	6(2)

○その他 ※（ ）内は、資料編等の中の教材数

内容	学年	東書	三省堂	教出	光村
学校図書館等の活用に関する教材数 (読書案内・読書活動を含む)	1年	8(1)	3(2)	9(0)	6(0)
	2年	8(1)	3(2)	9(0)	6(0)
	3年	8(1)	3(2)	8(0)	6(0)
QRコードの数	1年	66	94	50	93
	2年	66	95	52	84
	3年	59	85	48	70